

東京都墨田区

人と環境に配慮する独自のなめし技術 「ラセッター製法」で持続可能な事業を実現

国産ピッグスキン（豚皮・豚革）のほか、猪・鹿・羊・牛・馬・ダチョウ・熊皮のなめしや染色加工をし、上質で実用性のある皮革素材を製造。素肌のような革を創ることを目指し、植物タンニンで皮をなめす独自技術「ラセッター製法」を開発。これにより従来のクロム（塩基性硫酸クロム）を使ったなめしに比べ環境や人体に有害な物質の排出リスクを最小限に留めることを可能とした。新たな価値を持った皮革はマーケットからも注目されている。

●所在地	東京都墨田区東墨田3-11-10	●創業	1938年
●電話/FAX	03-3617-3868 / 03-3613-3239	●資本金	1,000万円
●URL	https://yamaguchi-sangyou.co.jp	●従業員数	4人
●代表者	代表取締役社長 山口 明宏		



ラセッター製法を広め、モンゴルレザーのブランド化を推進

優良な家畜生産国であるモンゴルに対して、JICA協力のもと、ラセッターなめし製法を技術提供。環境や人に良い、柔らかいといった付加価値をもたらすことで、モンゴルレザーのブランド化を推進するための調査に協力し、両国の産業振興に貢献した。同社は国内で製造した皮革においても、多くの海外メーカーと取引実績を持つが、今後は自社のラセッターなめし製法を広く技術移転することによって、外部連携を強化し、ヨーロッパなどの広い市場への展開も目指す。



現地同業者とモンゴルレザーのブランド化へ

日本各地の獣皮を有効活用し、産地ブランド革の開発に携わる

通常、獣害対策として駆除された鹿や猪は、有効資源として利用されることなく廃棄されることも多い。同社では、獣害対策後の排出皮有効資源化と日本原産の天然皮革開発に協力。これまで国内350か所以上の地域から獣皮を預かり、ラセッターなめし加工を施すことで、改めて獣革素材として産地へ還してきた実績を有する。また、地域の活性化につなげる獣皮活用支援事業「MATAGIプロジェクト」を主催し、大学、NPO法人等とともに実行委員会を立ちあげて、獣害に悩む産地や団体をサポートしている。



皮革なめしに使用する木樽

「やさしい革の約束」を通じた持続可能性の実現

欧米では一般化しつつある動物福祉に配慮した原料皮調達に日本国内で初めて対応。環境に配慮した同社の製法技術と品質優位性に基づいて、「やさしい革の約束」の名称で、4つの目標を設定している。①「排水中クロムのゼロ」、②「動物のストレスがゼロ」、③「働く人のストレスがゼロ」、④「不公正な取引がゼロ」。これらの取組が、海外ブランド（メーカー）からの調達優位性となるだけでなく、養豚農家との連携を強め、持続可能な安定供給へと結びついている。



『やさしい革の約束』のロゴマーク